2021 年度 集中治療専門医研修施設調査報告

2023年2月22日

一般社団法人日本集中治療医学会 ICU 機能評価委員会

1 目的

日本集中治療医学会集中治療専門医研修施設の実態(病床数、医師とりわけ集中治療医、メディカルスタッフなど)、診療内容、および患者転帰を明らかにする。なお、本調査は、日本集中治療医学会 ICU 機能評価委員会の事業として 2018 年から継続実施し、2019 年度より集中治療専門医研修施設は参加が必須となっている。

2 調査対象と方法

- 日本集中治療医学会集中治療専門医研修施設
- 2021年4月1日時点の認定372施設より、認定辞退を表明した6施設を除いた366施設を対象とした。
- 調査の一部を外部委託とした(株式会社クレッシー)
- 調査時期
 - ▶ 2021年9月1日~2022年4月20日
- 調査方法
 - ▶ 連絡先返信票(9月8日依頼, 9月14日締切)と調査票(10月22日依頼, 11月18日締切)の2段階調査を行った。
 - ➤ 各施設の責任者宛に、電子メールにてWord(連絡先返信票)とExcel(調査票)を用いて回答するよう 依頼した。
 - ▶ 返送のない施設については、繰り返し返送の依頼を行った。
 - ➤ 各施設における現状(患者関連データについては2020年データ、病床数・職員数は2021年9月1日 時点)を収集した。
 - ▶ 返送データの確認作業を行い、内容に疑義があるものについて各施設に修正を依頼した。

3 結果

- 3.1 施設実態
 - 3.1.1 調査対象施設:366 施設(前年比 +10 施設)
 - 3.1.2 主な医療保険区分:特定集中治療室管理料1または2 194施設(前年比 +16施設)

特定集中治療室管理料3または4 93施設(前年比 -5施設)

救命救急入院料2または4 70施設(前年比 -2施設)

小児特定集中治療管理料 9 施設(前年比 +1 施設)

3.1.3 回答施設:366 施設

3.1.4 回答率 :100%

3.2 病院施設の概要、他の施設認定等

3.2.1 各施設の病院病床数(中央値[第1四分位数-第3四分位数])

特定集中治療室管理料1または2(194施設) 638床 [515-829]

特定集中治療室管理料 3 または 4 (93 施設) 501 床 [413-670]

救命救急入院料2または4(70施設) 656床 [514-884]

小児特定集中治療室管理料(9 施設) 369 床 [240-637]

全体(366 施設)

612 床 「477-800〕

3.2.2 各施設における HCU [§]の有無(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

有り	無し
57.1%	42.9%
(209 施設)	(157 施設)

§ ハイケアユニット入院管理料 1,2、脳卒中ケアユニット入院医療管理料

3.2.3 他の施設認定等 (360 施設)

救命救急センターのみ6.9%(25 施設)救急科専門医研修施設**のみ14.4%(52 施設)

救命救急センターと救急科専門医研修施設[※] 33.1% (119 施設) 該当なし 45.6% (164 施設)

※ 日本専門医機構認定

3.3 加算病床数(中央値「第1四分位数-第3四分位数]、中央値の前年比)

3.3.1 加算病床数

特定集中治療室管理料 1 または 2 (194 施設) 10 床 [8-14]、 前年比±0 特定集中治療室管理料 3 または 4 (93 施設) 8 床 [6-10]、 前年比±0 救命救急入院料 2 または 4 (70 施設) 10 床 [8-12]、 前年比±0 小児特定集中治療室管理料(9 施設) 12 床 [8-16]、 前年比 -3 全体(366 施設) 10 床 [8-14]、 前年比±0

3.3.2 病院 100 床あたりの加算病床数(研修施設の加算病床に限定)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (194 施設) 1.59 床 [1.20-2.12]、前年比 +0.01 特定集中治療室管理料 3 または 4 (93 施設) 1.68 床 [1.27-2.21]、前年比 +0.01 救命救急入院料 2 または 4 (70 施設) 1.64 床 [1.06-2.31]、前年比 -0.06 小児特定集中治療室管理料 (9 施設) 4.00 床 [1.29-4.37]、前年比 +0.17 全体(366 施設) 1.63 床 [1.20-2.22]、前年比 -0.02

※「(研修施設の加算病床数/病院病床数)×100 床」より算出

3.3.3 病院 100 床あたりの加算病床数

研修施設の加算病床数(366 施設) 1.63 床 [1.20-2.22] 病院全体の加算病床数(366 施設) 2.33 床 [1.66-3.35] 病院全体の加算病床とHCUの合計(366 施設) 5.18 床 [3.70-7.12]

※「(病床数/病院病床数)×100 床」より算出

3.4 集中治療室の概要(中央値[第1四分位数-第3四分位数]、中央値の前年比)

3.4.1 集中治療室の個室割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (194 施設) 36.3% [25.0-58.8] 特定集中治療室管理料 3 または 4 (93 施設) 31.5% [20.0-50.0] 救命救急入院料 2 または 4 (70 施設) 40.0% [20.0-66.7] 小児特定集中治療室管理料 (9 施設) 33.3% [18.8-55.0] 全体(366 施設) 33.3% [21.0-56.5]

3.4.2 当該集中治療室における陰圧病床の有無(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

有り	無し
79.5%	20.5%
(290 施設)	(75 施設)

3.4.3 当該集中治療室における陰圧病床数(施設中央値)

全体(365 施設)

2 床 [1-3]、前年比 +1

3.4.4 集中治療室の総延べ床面積(1 病床あたり)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (175 施設) 61.5 $m^2/$ 床 [43.4-83.3] 特定集中治療室管理料 3 または 4 (87 施設) 46.7 $m^2/$ 床 [31.9-62.5] 救命救急入院料 2 または 4 (60 施設) 45.4 $m^2/$ 床 [29.8-69.3] 小児特定集中治療室管理料 (6 施設) 42.1 $m^2/$ 床 [25.9-63.9] 全体 (328 施設) 52.4 $m^2/$ 床 [37.1-63.9]

3.4.5 個室病床の平均面積(1 病床あたり)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (175 施設) 22.0 m^2/k [20.4-24.0] 特定集中治療室管理料 3 または 4 (83 施設) 19.0 m^2/k [16.0-21.2] 救命救急入院料 2 または 4 (57 施設) 18.8 m^2/k [16.3-21.4] 小児特定集中治療室管理料 (7 施設) 21.0 m^2/k [18.6-22.1] 全体 (322 施設) 21.0 m^2/k [18.6-23.2]

3.4.6 オープン病床の平均面積(1 病床あたり)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (163 施設) 21.5 $m^2/$ 床 [20.4-24.0] 特定集中治療室管理料 3 または 4 (86 施設) 18.2 $m^2/$ 床 [16.0-23.2] 救命救急入院料 2 または 4 (56 施設) 18.8 $m^2/$ 床 [15.7-22.5] 小児特定集中治療室管理料 (7 施設) 23.5 $m^2/$ 床 [21.0-25.0] 全体(312 施設) 21.0 $m^2/$ 床 [18.8-23.8]

3.4.7 集中治療室の器材室の面積(1病床あたり)

特定集中治療室管理料1または2(169施設) 3.1 m²/床 [1.8-5.0] 特定集中治療室管理料3または4(83施設) 2.8 m²/床 [1.5-4.7] 救命救急入院料2または4(54施設) 2.7 m²/床 [1.7-4.3] 小児特定集中治療室管理料(6施設) 2.3 m²/床 [0.7-4.4] 全体(312施設) 3.0 m²/床 [1.7-5.0]

3.4.8 主な形態(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

General	Emergency	Surgical	Pediatric	Medical	Coronary care unit
ICU	ICU	ICU	ICU	ICU	
68.4%	18.1%) (66 施設)	6.3%	5.5%	0.8%	0.8%
(249 施設		(23 施設)	(20 施設)	(3 施設)	(3 施設)

3.4.9 運用体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	Closed ICU	Mandatory critical care consultation	Elective critical care consultation	No critical care physician
特定集中治療管理料 1,2	24.2% (+0.6%)	47.4% (-11%)	28.4% (+10.4%)	0.0% (±0%)
(194 施設)	(47 施設)	(92 施設)	(55 施設)	(0 施設)
特定集中治療管理料 3,4	7.5% (-4.9%)	45.2% (-3.3%)	47.3% (+8.1%)	0.0% (±0%)
(93 施設)	(7 施設)	(42 施設)	(44 施設)	(0 施設)
救命救急入院料 2,4	40.0% (-3.1%)	31.4% (-4.7%)	28.6% (+7.8%)	0.0% (±0%)
(70 施設)	(28 施設)	(22 施設)	(20 施設)	(0 施設)
小児特定集中治療室管理料	87.5% (-12.5%) (7 施設)	0% (-25%)	12.5% (+12.5%)	0.0% (±0%)
(8 施設)		(0 施設)	(1 施設)	(0 施設)
全体 (365 施設)	24.4% (-1.2%) (89 施設)	42.7% (-7.7%) (156 施設)	32.9% (+9.0%) (120 施設)	0.0% (±0%) (0 施設)

※ (±0%)は前年比

Closed ICU (集中治療医が治療方針をすべて決定する)

Mandatory critical care consultation (集中治療医は全患者に介入する)

Elective critical care consultation (主治医から依頼があった患者のみ、集中治療医は介入する)

No critical care physician (集中治療医がいない)

3.5 医師の診療体制(中央値[第1四分位数-第3四分位数])

3.5.1 集中治療室に勤務する専従・専任医の人数(上段:全施設の合計,下段:各施設の中央値)

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
専従医	1492 人/340 施設	1743 人/355 施設	1845 人/366 施設
	2 人[1-6]	3 人[1-7]	3 人[1-7]
専任医	1057 人/337 施設 1 人[0-4]	1451 人/349 施設 1 人[0-5]	1257 人/362 施設 1 人[0-5]
専従医+専任医	2531 人/337 施設	2855 人/332 施設	3058 人/362 施設
	6 人[3-10]	7 人[3-11]	6 人[3-12]

- ※「専従医+専任医」については、専従医もしくは専任医のいずれかのデータが欠損している施設は 除外した
- 3.5.2 専従・専任医が所有する専門医資格(上段:該当者の割合、下段:該当者の人数)

	集中治療専門医	救急科專門医	麻酔科専門医	左記以外
専従医	29.2%	27.7%	17.9%	25.2%
(1845 人)	(750 人)	(710 人)	(459 人)	(648 人)
専任医	17.4%	19.2%	24.7%	38.6%
(1257 人)	(261 人)	(287 人)	(370 人)	(578 人)

※ 重複資格を含む

3.5.3 集中治療室に勤務する専従・専任医の人数(上段:各施設の中央値、下段:回答施設数)

	Closed ICU	Mandatory critical care consultation	Elective critical care consultation
専従医	8 人[3-13]	3 人[2-6]	2 人[1-3]
	(89 施設)	(156 施設)	(120 施設)
専任医	1 人[0-6]	1 人[0−4]	1 人[0-4]
	(88 施設)	(154 施設)	(119 施設)
専従医+専任医	11 人[8-16] (88 施設)	6 人[3-12] (154 施設)	4 人[2-7] (119 施設)

- ※ 専従医: 業務時間の80%以上かつ週4日以上32時間以上を集中治療室で勤務
- ※ 専任医: 専従医に該当しないが、業務時間の50%以上かつ週20時間以上を集中治療室で勤務 (いずれも手術室での麻酔業務、救急外来での診療は含めない)
- ※「専従医+専任医」については、専従医もしくは専任医のいずれかのデータが欠損している施設は 除外した
- 3.5.4 集中治療室に勤務する専従・専任医のうち、集中治療専門医人数(上段:全施設の合計,下段:各施設の中央値)

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
専従医	627 人/340 施設	708 人/354 施設	750 人/366 施設
	1 人[1-2]	1 人[1-3]	2 人[1-3]
専任医	214 人/338 施設	232 人/333 施設	261 人/366 施設
	0 人[0-1]	0 人[0-1]	0 人[0-1]
専従医+専任医	832 人/337 施設 2 人[1-3]	864 人/331 施設 2 人[1-3]	1011 人/366 施設 2 人[1-3]

- ※「専従医+専任医」については、専従医もしくは専任医のいずれかのデータが欠損している施設は 除外した
- 3.5.5 集中治療室に勤務する専従・専任医のうち、集中治療専門医人数(上段:各施設の中央値、下段: 回答施設数)

		Mandatory	Elective
	Closed ICU	critical care	critical care
		consultation	consultation
専従医	2 人[1-4]	2 人[1-3]	1 人[1-2]
	(89 施設)	(156 施設)	(120 施設)
専任医	0 人[0-1]	0 人[0−1]	0 人[0−1]
	(88 施設)	(153 施設)	(119 施設)
専従医+専任医	3 人[2-4]	2 人[1-3]	2 人[1-2]
	(88 施設)	(153 施設)	(119 施設)

※「専従医+専任医」については、専従医もしくは専任医のいずれかのデータが欠損している施設は 除外した

3.5.6 各時間帯に勤務する医師数 (366 施設)

		午前 10 時	午後8時	午前4時
平日		3人[2-5]	1人[1-2]	1人[1-2]
土日祝日	1	2人[1-3]	1人[1-2]	1人[1-2]

※ 初期研修医は除く

3.5.7 医師勤務体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

2交代 (8-17,17-8 等)	2 交代 (12 時間毎)	1交代 (24 時間勤務)	その他
82.1%	6.9%	9.9%	1.1%
(299 施設)	(25 施設)	(36 施設)	(4 施設)

3.5.8 24 時間を超える勤務体制※(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

有り	無し
30.2%	69.8%
(110 施設)	(254 施設)

※ 例:日勤→夜勤→日勤

- 3.6 看護師の診療体制(中央値[第1四分位数-第3四分位数]、中央値の前年比)
 - 3.6.1 看護師の他部署との兼任の有無(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

有り	無し
18.6%	81.4%
(67 施設)	(294 施設)

3.6.2 専門・認定看護師の人数(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	0人	1人	2 人	3 人以上
急性•重症患者看護専門看護師	71.9%	23.0%	3.7%	1.4%
(356 施設)	(256 施設)	(82 施設)	(13 施設)	(5 施設)
集中ケア認定看護師	30.5%	48.5%	16.9%	4.2%
(361 施設)	(110 施設)	(175 施設)	(61 施設)	(15 施設)
救急看護認定看護師	64.5%	26.6%	5.3%	3.6%
(361 施設)	(233 施設)	(96 施設)	(19 施設)	(13 施設)
新生児集中ケア認定看護師	96.6%	2.8%	0.6%	0.0%
(356 施設)	(344 施設)	(10 施設)	(2 施設)	(0 施設)
小児救急看護認定看護師	93.8%	5.6%	0.6%	0.0%
(356 施設)	(334 施設)	(20 施設)	(2 施設)	(0 施設)
特定行為研修8区分修了看護師	77.0%	12.6%	5.9%	4.5%
(357 施設)	(275 施設)	(45 施設)	(21 施設)	(16 施設)

3.6.3 専門・認定看護師の合計**人数(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

0人	1人	2 人	3 人	4 人	5人以上
8.8%	30.8%	28.5%	14.4%	7.1%	10.5%
(31 施設)	(109 施設)	(101 施設)	(51 施設)	(25 施設)	(37 施設)

3.6.2 における専門・認定・8 区分修了看護師(いずれかのデータが欠損している施設は除外)

3.6.4 加算病床 2 床当たりの看護師配置人数5

特定集中治療室管理料 1 または 2 (173 施設) 1.49 人 [0.87-2.22]、前年比 -0.10

特定集中治療室管理料 3 または 4 (85 施設) 1.16 人 [0.80-1.61]、前年比 -0.22 救命救急入院料 2 または 4 (55 施設) 1.62 人 [0.85-2.74]、前年比 +0.27 小児特定集中治療室管理料 (8 施設) 1.28 人 [0.89-2.00]、前年比 +0.04 全体(323 施設) 1.36 人 [0.85-2.14]、前年比 -0.01

 \int 施設毎の「(看護師の 8 月延べ勤務時間数の合計 II / (加算病床数 \times 31 日 \times 24 時間)) \times 2 床 II はり算出

∬ 入院基本料等の施設基準に係わる届出添付書類(様式 9) の 4.勤務実績表から抜粋 3.6.5 各時間帯に勤務する看護師数(加算病床 2 床当たり)

		平日		土日祝日			
	午前 10 時	午後8時	午前4時	午前 10 時	午後8時	午前4時	
特定集中治療室管理料	2.00 人	1.00 人	1.00 人	1.50 人	1.00 人	1.00 人	
1または2(193施設)	[1.66-2.55]	[1.00-1.20]	[1.00-1.11]	[1.25-1.88]	[1.00-1.17]	[1.00-1.00]	
特定集中治療室管理料	2.00 人	1.00 人	1.00 人	1.37 人	1.00 人	1.00 人	
3または4 (92施設)	[1.52-2.50]	[1.00-1.17]	[1.00-1.06]	[1.10-1.71]	[1.00-1.00]	[1.00-1.00]	
救命救急入院料	1.78 人	1.00 人	1.00 人	1.50 人	1.00 人	1.00 人	
2または4(68施設)	[1.40-2.56]	[1.00-1.28]	[1.00-1.20]	[1.20-2.00]	[1.00-1.21]	[1.00-1.20]	
小児特定集中治療室	2.00 人	1.00 人	0.95 人	1.50 人	1.00 人	1.00 人	
管理料 (9 施設)	[1.67-2.58]	[0.89-1.25]	[0.89-1.25]	[1.28-2.00]	[0.89-1.25]	[0.89-1.25]	

※ 施設毎の「(各時間帯で勤務するおおよその看護師数/加算病床数) × 2 床 」より算出

3.7 臨床工学技士の診療体制

3.7.1 平日の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	日勤+夜勤	日勤のみ	専従なし	その他
特定集中治療室管理料1または2	52.1%	21.4%	26.0%	0.5%
(192 施設)	(100 施設)	(41 施設)	(50 施設)	(1 施設)
特定集中治療室管理料3または4	17.4%	38.0%	43.5%	1.1%
(92 施設)	(16 施設)	(35 施設)	(40 施設)	(1 施設)
救命救急入院料2または4	32.9%	22.9%	44.3%	0.0%
(70 施設)	(23 施設)	(16 施設)	(31 施設)	(0 施設)
小児特定集中治療室管理料	22.2%	22.2%	55.6%	0.0%
(9 施設)	(2 施設)	(2 施設)	(5 施設)	(0 施設)
全体	38.8%	25.9%	34.7%	0.6%
(363 施設)	(141 施設)	(94 施設)	(126 施設)	(2 施設)

※ 専従:1日における業務時間の80%以上が、集中治療室での勤務(日替わり勤務を含む)

3.7.2 土日祝日の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	日勤+夜勤	日勤のみ	専従なし	その他
特定集中治療室管理料1または2	50.5%	6.8%	42.7%	0.0%
(192 施設)	(97 施設)	(13 施設)	(82 施設)	(0 施設)
特定集中治療室管理料3または4	17.4%	16.3%	66.3%	0.0%
(92 施設)	(16 施設)	(15 施設)	(61 施設)	(0 施設)
救命救急入院料2または4	32.9%	8.6%	58.6%	0.0%
(70 施設)	(23 施設)	(6 施設)	(41 施設)	(0 施設)
小児特定集中治療室管理料	22.2%	11.1%	66.7%	12.5%
(9 施設)	(2 施設)	(1 施設)	(6 施設)	(0 施設)

全体	38.0%	9.6%	52.3%	0.0%
(363 施設)	(138 施設)	(35 施設)	(190 施設)	(0 施設)

※ 専従:1日における業務時間の80%以上が、集中治療室での勤務(日替わり勤務を含む)

3.8 薬剤師の診療体制

3.8.1 平日の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	日勤+夜勤	日勤のみ	専従なし	その他
特定集中治療室管理料1または2	4.6%	63.9%	30.4%	1.0%
(194 施設)	(9 施設)	(124 施設)	(59 施設)	(2 施設)
特定集中治療室管理料3または4	4.3%	55.4%	39.1%	1.1%
(92 施設)	(4 施設)	(51 施設)	(36 施設)	(1 施設)
救命救急入院料2または4	8.6%	64.3%	27.1%	0.0%
(70 施設)	(6 施設)	(45 施設)	(19 施設)	(0 施設)
小児特定集中治療室管理料	0.0%	33.3%	55.6%	11.1%
(9 施設)	(0 施設)	(3 施設)	(5 施設)	(1 施設)
全体	5.2%	61.1%	32.6%	1.1%
(365 施設)	(19 施設)	(223 施設)	(119 施設)	(4 施設)

※ 専従:1日における業務時間の80%以上が、集中治療室での勤務(日替わり勤務を含む)

3.8.2 十日祝日の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	日勤+夜勤	日勤のみ	専従なし	その他
特定集中治療室管理料1または2	3.1%	10.4%	82.9%	3.6%
(193 施設)	(6 施設)	(20 施設)	(160 施設)	(7 施設)
特定集中治療室管理料3または4	4.4%	14.3%	78.0%	3.3%
(91 施設)	(4 施設)	(13 施設)	(71 施設)	(3 施設)
救命救急入院料2または4	8.6%	7.1%	81.4%	2.9%
(70 施設)	(6 施設)	(5 施設)	(57 施設)	(2 施設)
小児特定集中治療室管理料	0.0%	11.1%	88.9%	0.0%
(9 施設)	(0 施設)	(1 施設)	(8 施設)	(0 施設)
全体	4.4%	10.7%	81.5%	3.3%
(363 施設)	(16 施設)	(39 施設)	(296 施設)	(12 施設)

※ 専従:1日における業務時間の80%以上が、集中治療室での勤務(日替わり勤務を含む)

3.9 理学療法士の診療体制

3.9.1 平日の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	日勤のみ	専従なし	その他
特定集中治療室管理料1または2	49.2%	49.2%	1.6%
(193 施設)	(95 施設)	(95 施設)	(3 施設)
特定集中治療室管理料3または4	41.3%	57.6%	1.1%
(92 施設)	(38 施設)	(53 施設)	(1 施設)
救命救急入院料2または4	30.0%	70.0%	0.0%
(70 施設)	(21 施設)	(49 施設)	(0 施設)
小児特定集中治療室管理料	44.4%	55.6%	0.0%
(9 施設)	(4 施設)	(5 施設)	(0 施設)
全体	43.4%	55.5%	1.1%
(364 施設)	(158 施設)	(202 施設)	(4 施設)

※ 専従:1日における業務時間の80%以上が、集中治療室での勤務(日替わり勤務を含む)

3.9.2 土日祝日の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	日勤のみ	専従なし	その他
特定集中治療室管理料1または2	15.5%	75.6%	8.8%
(193 施設)	(30 施設)	146 施設)	(17 施設)
特定集中治療室管理料3または4	18.5%	76.1%	5.4%
(92 施設)	(17 施設)	(70 施設)	(5 施設)
救命救急入院料2または4	8.6%	90.0%	1.4%
(70 施設)	(6 施設)	(63 施設)	(1 施設)
小児特定集中治療室管理料	0.0%	88.9%	11.1%
(9 施設)	(0 施設)	(8 施設)	(1 施設)
全体	14.6%	78.8%	6.6%
(364 施設)	(53 施設)	(287 施設)	(24 施設)

※ 専徒:1日における業務時間の80%以上が、集中治療室での勤務(日替わり勤務を含む)

3.10 患者動態(中央値「第1四分位数-第3四分位数」、中央値の前年比)

3.10.1 加算病床あたりの年間総入室患者数

特定集中治療室管理料 1 または 2 (191 施設) 69.2 人/床 [54.7-87.7]、前年比 -12.1 特定集中治療室管理料 3 または 4 (89 施設) 68.9 人/床 [53.9-86.6]、前年比 - 5.8 救命救急入院料 2 または 4 (67 施設) 59.8 人/床 [40.3-81.7]、前年比 - 0.1 小児特定集中治療室管理料 (9 施設) 40.6 人/床 [33.8-55.1]、前年比 - 5.5 全体(356 施設) 66.8 人/床 [50.5-86.6]、前年比 - 8.6

※ 施設毎の「(総入室患者数/加算病床数)」より算出

3.10.2 加算病床あたりの年間延べ在室日数

特定集中治療室管理料 1 または 2 (183 施設) 295 日/床 [246-342]、前年比 -31 特定集中治療室管理料 3 または 4 (82 施設) 270 日/床 [230-320]、前年比 -30 救命救急入院料 2 または 4 (59 施設) 299 日/床 [229-330]、前年比 - 9 小児特定集中治療室管理料 (7 施設) 253 日/床 [214-290]、前年比 -46 全体(331 施設) 288 日/床 [239-333]、前年比 -28

- ※ 在室日数は(退室日 入室日)+1日 で計算
- ※ 施設毎の「(総在室日数/加算病床数)」より算出
- 3.10.3 年間あたりの広範囲熱傷患者数(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

0人	1人	2 人	3 人	4人	5人	6人	7人	8人以上
70.5%	9.8%	4.8%	4.2%	3.4%	1.7%	2.8%	0.3%	2.6%
(251 施設)	(35 施設)	(17 施設)	(15 施設)	(12 施設)	(6 施設)	(10 施設)	(1 施設)	(9 施設)

3.10.4 在室 14 日以上の長期滞在患者の割合(広範囲熱傷患者を除く)

全体(337 施設)

3.2%[1.5-5.3]、前年比 -0.1

※ 施設毎の「在室 14 日以上の長期滞在患者数 (広範囲熱傷患者を除く)/(年間入室の総患者数-広範囲熱傷患者数)」より算出

3.10.5 在室 60 日以上の長期滞在広範囲熱傷患者の割合

全体(101 施設)

0.0%[0.0-0.0]、前年比 ±0

- 3.10.6 集中治療室管理料または救命救急入院料の非算定日数の割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (155 施設) 12.4% [7.5-21.1]、前年比 -2.5 特定集中治療室管理料 3 または 4 (73 施設) 12.3% [5.6-23.5]、前年比 -1.8 救命救急入院料 2 または 4 (53 施設) 22.1% [11.2-34.4]、前年比 +3.3 小児特定集中治療室管理料 (5 施設) 27.5% [4.4-36.6]、前年比 +2.2 全体(337 施設) 13.8% [7.8-24.3]、前年比 -1.7

※ 施設毎の「管理料非算定となった年間延べ在室日数/年間延べ在室日数)」より算出

- 3.11 治療介入の実施数(中央値[第1四分位数-第3四分位数]、中央値の前年比)
 - 3.11.1 人工呼吸器使用患者(NPPV は含めない)の人数(合計)

回答施設数	集中治療室の病床数	人工呼吸器装着患者数
334 施設	3,921 床	96,153 人
(前年比 +14)	(前年比 +401)	(前年比 -8,379)

3.11.2 人工呼吸器使用患者(NPPV は含めない)の割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (175 施設) 41.3% [28.1-53.9]、前年比 +3.6 特定集中治療室管理料 3 または 4 (83 施設) 29.5% [19.6-43.6]、前年比 -2.2 救命救急入院料 2 または 4 (62 施設) 39.6% [22.7-59.5]、前年比 -0.6 小児特定集中治療室管理料 (7 施設) 42.3% [39.4-49.3]、前年比 -6.0 全体(327 施設) 37.6% [25.2-52.4]、前年比 +0.3

※ 施設毎の「人工呼吸器使用患者数(NPPV 含めず)/年間入室の総患者数) より算出

3.11.3 血液浄化療法実施患者の人数(合計)

回答施設数	集中治療室の病床数	血液浄化療法実施患者数
343 施設	4,029 床	24,641 人
(前年比 +15)	(前年比 +431)	(前年比 -4,731)

3.11.4 血液浄化法実施患者(CHDF,HD,PMX-HP,PE など)の割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (182 施設) 8.3% [5.3-12.3]、前年比 ±0 特定集中治療室管理料 3 または 4 (86 施設) 7.3% [4.3-10.4]、前年比 -0.4 救命救急入院料 2 または 4 (66 施設) 8.4% [5.5-13.3]、前年比 -1.0 小児特定集中治療室管理料 (7 施設) 1.3% [0.2-1.9]、前年比 -0.4 全体(341 施設) 8.0% [4.8-11.8]、前年比 -0.2

※ 施設毎の「血液浄化法実施患者数/年間入室の総患者数)」より算出

3.11.5 ECMO (V-A,V-V) 実施患者の人数(合計)

回答施設数	集中治療室の病床数	ECMO 実施患者数	
348 施設	4,069 床	4,783 人	
(前年比 +11)	(前年比 +190)	(前年比 +48)	

3.11.6 ECMO (V-A,V-V) 実施患者数(各施設の中央値)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (185 施設) 9 人 [5-19]、 前年比 ±0

特定集中治療室管理料 3 または 4 (89 施設)6 人 [2-13.5]、前年比 -1救命救急入院料 2 または 4 (67 施設)15 人 [6-26]、 前年比 -1小児特定集中治療室管理料 (7 施設)6 人 [2-11]、 前年比 -2全体(348 施設)10 人 [4-18]、 前年比 +1

3.12 重症度評価

3.12.1 重症度評価の実施率(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数/回答施設数)

運用体制	2019 年度	2020 年度	2021 年度
Closed ICU	90.7%	85.7%	83.1%
	(78/86 施設)	(78/91 施設)	(74/89 施設)
Mandatory critical care consultation	79.9%	79.9%	76.1%
	(131/164 施設)	(143/179 施設)	(118/155 施設)
Elective critical care consultation	72.9%	69.4%	75.6%
	(62/85 施設)	(59/85 施設)	(90/119 施設)
No critical care physician	66.7%	0%	0%
	(2/3 施設)	(0/0 施設)	(0/0 施設)
全体	80.8%	78.9%	77.7%
	(273/338 施設)	(280/355 施設)	(282/363 施設)

3.12.2 実施している主な重症度指標 ※ 複数選択可

SOFA 49.9%(182/365 施設) APACHE II 53.9% (195/362 施設) APACHEⅢ 9.9% (36/364 施設) APACHEIV 0.8% (3/364 施設) SAPS II 13.7% (50/365 施設) (2/365 施設) SAPS**III** 0.5% PIM2 8.2% (30/365 施設) PIM3 8.2% (30/365 施設) TRISS 0.5% (2/365 施設) ISS 0.3% (1/365 施設) RTS 0.3% (1/365 施設) 0.3% (1/365 施設) AIS

3.12.3 APACHE II 中央値「第1四分位数-第3四分位数」、中央値の前年比

特定集中治療室管理料 1 または 2 (118 施設) 15 [13-16]、前年比 +1 特定集中治療室管理料 3 または 4 (32 施設) 14 [11-17]、前年比 ±0 救命救急入院料 2 または 4 (30 施設) 18 [15-20]、前年比 ±0

小児特定集中治療室管理料(0施設)

全体(180 施設) 15 [13-17]、前年比 ±0

3.12.4 SOFA 中央値「第1四分位数-第3四分位数」、中央値の前年比

特定集中治療室管理料 1 または 2 (79 施設) 4 [3-6]、前年比 ±0 特定集中治療室管理料 3 または 4 (26 施設) 4 [2-5]、前年比 -0.3 救命救急入院料 2 または 4 (17 施設) 5 [4-7]、前年比 ±0 小児特定集中治療室管理料 (1 施設) 4 全体(123 施設) 4 [3-6]、前年比 ±0

3.13 アウトカム(中央値「第1四分位数-第3四分位数]、中央値の前年比)

3.13.1 年間 ICU 内死亡率

特定集中治療室管理料 1 または 2 (188 施設) 3.6% [2.3-6.1]、 前年比 +0.2 特定集中治療室管理料 3 または 4 (86 施設) 4.1% [2.8-6.2]、 前年比 -0.2 救命救急入院料 2 または 4 (59 施設) 9.9% [6.0-15.9]、 前年比 +1.1 小児特定集中治療室管理料 (9 施設) 1.9% [1.1-6.0]、 前年比 -0.3 全体(342 施設) 4.3% [2.6-7.2]、 前年比 ±0

3.13.2 年間病院内死亡率

特定集中治療室管理料 1 または 2 (155 施設) 8.0% [4.8-11.6]、前年比 +1.0 特定集中治療室管理料 3 または 4 (873 設) 8.0% [5.2-11.6]、前年比 +0.2 救命救急入院料 2 または 4 (53 施設) 13.9% [10.0-21.2]、前年比 +1.1 小児特定集中治療室管理料 (5 施設) 2.3% [1.3-7.0]、前年比 -0.2 全体(286 施設) 8.8% [5.2-14.6]、前年比 +0.5

3.13.3 予測死亡率に用いた重症度指標

APACHEⅢ 35.2%(120 施設)、前年比 -5.4% APACHEⅢ 7.0% (24 施設)、前年比 +2.1% APACHEⅣ 0.6% (2 施設)、前年比 +0.6% PIM2 1.8% (6 施設)、前年比 -0.4% PIM3 3.5% (12 施設)、前年比 -0.8% SAPS Ⅱ 0.3% (1 施設)、前年比 -0.6% 未調査 51.6%(176 施設)、前年比 +4.8%

3.13.4 予測死亡率の年間平均値

特定集中治療室管理料 1 または 2 (102 施設) 19.1% [14.6-27.1] 特定集中治療室管理料 3 または 4 (27 施設) 21.3% [14.9-25.6] 救命救急入院料 2 または 4 (22 施設) 30.5% [23.4-38.4] 小児特定集中治療室管理料 (6 施設) 2.8% [2.2-3.5] 全体(167 施設) 20.7% [14.6-29.6]

3.13.5 標準化死亡比

特定集中治療室管理料 1 または 2 (88 施設) 0.40 [0.29-0.54]、前年比 +0.02 特定集中治療室管理料 3 または 4 (26 施設) 0.44 [0.29-0.59]、前年比 -0.17 救命救急入院料 2 または 4 (18 施設) 0.44 [0.26-0.67]、前年比 -0.04 小児特定集中治療室管理料 (4 施設) 0.74 [0.47-0.99]、前年比 -0.19

まとめ

- * 集中治療専門医研修施設は366施設で(前年度より+10)、全施設から回答を受領した(回収率100%)。
- * 医療保険区分別では、特定集中治療室管理料 1,2 を算定する施設が増加した(前年度より+16)。
- * 研修施設における集中治療室ベッド数(研修施設)の中央値[IQR]は、病院 100 病床あたりの 1.63 床 [1.20-2.22]であった。病院全体の集中治療室ベッドを合算すると、病院 100 病床あたり 2.33 床 [1.66-3.35]となった。さらに HCU も加えると、病院 100 病床あたり 5.18 床[3.70-7.12]であった。
- * 集中治療室の陰圧病床は施設あたり2床[1-3]で、昨年度より増加傾向にあった。
- * 集中治療室における個室病床の割合は 33.3%[21.0-56.5]で、医療保険区分別では救命救急入院料 2,4 で最も高かった。
- * 集中治療室の総延べ床面積(1 病床あたり)は 52.4m²/床 [37.1-77.5]で、医療保険区分別では特定集中 治療室管理料 1,2 が最も広かった。
- * 集中治療室の器材室の面積(1 病床あたり)は 3.0m²/床 [1.7-5.0]で、医療保険区分別には大きな差がなかった。
- * 運用体制は昨年度と比べ、Mandatory critical care consultation が減少し(-7.7%)、Elective critical care consultation が大きく増加した(+9.0%)。
- * 集中治療室に勤務する専従医の総数は 1845 人(366 施設)で、昨年度より 102 人増加した。専任医の総数 は 1259 人(362 施設)で、昨年度より 194 人減少した。その内訳では、専従医では救急科専門医が減少し (-245 人)、麻酔科専門医が増加していた(+277 人)。専任医ではいずれの専門医を有しない医師が減少していた(-179 人)。
- * 集中治療室に勤務する専従医・専任医のうち集中治療専門医は総数 1011 人/366 施設であった。1 施設あたり 2 人(中央値)で、運用体制別では Closed ICU 3 人、Mandatory critical care consultation 2 人、Elective critical care consultation 2 人(いずれも中央値)と、昨年度と同じであった。
- * 看護師の 8 月延べ勤務時間数の合計から算出した、加算病床 2 床当たりの看護師配置人数は 1.36 人 /2 床(中央値)で、昨年度と同程度であった。医療保険区分別では、特定集中治療室管理料 1,2 と救命 救急入院料 2,4 が増加し(1.39→1.49 人/2 床、1.35→1.62 人/2 床)、特定集中治療室管理料 3,4 で減少した(1.38→1.16 人/2 床)。
- * 臨床工学技士の専従体制(「日勤+夜勤」もしくは「日勤のみ」)がある施設は、平日では 64.7%(235/363 施設)であったが、土日祝日には 47.6%(173/363 施設)だった。
- * 薬剤師の専従体制(「日勤+夜勤」もしくは「日勤のみ」)がある施設は、平日では66.3%(242/365 施設)であったが、土日祝日には15.2%(55/363 施設)だった。
- * 理学療法士の専従体制(「日勤のみ」)がある施設は、平日では 43.4%(158/364 施設)であったが、土日祝日には 14.6%(53/363 施設)だった。
- * 加算病床あたりの年間総入室患者数(施設中央値)は 66.8 人/床で、前年比 -8.6 人/床だった。医療保険区分別では、特定集中治療室管理料 1,2 の減少が目立っていた。
- * 加算病床あたりの年間延べ在室日数(施設中央値)は288日/床で、前年比 -28日/床だった。医療保険 区分別では、すべての区分で減少していた。
- * 前年度と比べ、在室 14 日以上の長期滞在患者数の割合(広範囲熱傷患者を除く)は 3.3→3.2%(施設中央値)に低下し、非算定日数の割合は 15.5→13.8%(施設中央値)に低下した。医療保険区分別の非算定

- 日数の割合は、特定集中治療室管理料 1,2 と 3,4 が低下し、救命救急入院料 2,4 で上昇していた。
- * 人工呼吸器(NPPV 含めず)を使用した患者数は前年度(104,532 人/320 施設)より96,153 人/334 施設 に減少したが、施設あたりの患者割合は37.6%(施設中央値)で前年度より0.3%上昇した。
- * 研修施設における ECMO(V-A,V-V) 実施患者数は前年度(4,735 人/337 施設)から 4,783 人/348 施設 となり、1 施設あたり $9\rightarrow 10$ 人(施設中央値)と増加した。
- * 研修施設全体の重症度評価の実施率は 77.7%で、昨年度より 1.2%低下した。運用体制別では、Closed ICU (-2.6%)と Mandatory critical care consultation(-3.8%)で 低下し、Elective critical care consultation(+6.6%)で上昇した。
- * 各施設における ICU 内死亡率と病院内死亡率の調査実施率は、前年度と比べそれぞれ 90.4→ 93.4%(322→342 施設)と73.6→78.1%(262→286 施設)に上昇した。
- * 病院内死亡率と予測死亡率から算出した標準化死亡比(136 施設)は前年度と比べ 0.45→0.41(施設中央値)に低下し、医療保険区分別では特定集中治療室管理料 1,2 で上昇し、それ以外の医療保険区分は減少していた。